



各 位

平成 23 年 10 月 21 日

会 社 名 富 士 ソ フ ト 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 坂 下 智 保
(コード番号 9749 東証第1部)
問合せ先 経営管理部長 内 藤 達 也
(TEL 03-5209-5550)

子会社における業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であるヴァインキュラム ジャパン株式会社は、平成23年5月11日に公表した業績予想を別添のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、この修正を含めた当社の連結業績予想につきましては、適時開示の必要性が生じた際にはあらためてお知らせいたします。

以 上

平成 23 年 10 月 21 日

各 位

大阪市北区堂島浜二丁目 2 番 8 号 東洋紡ビル
 ヴィンキュラム ジャパン株式会社
 代表取締役社長 瀧澤 隆
 (JASDAQ・コード番号: 3784)
 問い合わせ先 取締役管理部長 吉田 裕
 TEL 06-6348-8951

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月11日付当社「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました平成24年3月期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期連結累計期間(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	4,215	25	20	13	412 円 70 銭
今回修正 (B)	4,403	△165	△133	△75	△2,406 円 04 銭
増減額 (B-A)	188	△190	△153	△88	—
増減率	4.5%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	4,479	67	76	9	301 円 34 銭

(2) 修正理由

売上高につきましては、特定顧客化戦略により大手総合小売業グループ向け大型アウトソーシング案件を前倒しで獲得したこと、主要顧客向け店舗システム導入に伴いハードウェア販売が好調に推移したことなどの影響により、前回予想値を 1 億 88 百万円上回り 44 億 3 百万円となる見通しです。

しかしながら、利益面につきましては、この大型アウトソーシング案件の安定稼働のために要員の投入や設備投資を実施したこと、クラウド向けプロダクト開発に積極的に投資をしたこと及びアセアン地域における事業化調査をしたことなどの影響により費用が増加し、営業利益は 1 億 65 百万円の営業損失(1 億 90 百万円の減少)、経常利益は 1 億 33 百万円の経常損失(1 億 53 百万円の減少)、四半期純利益は 75 百万円の四半期純損失(88 百万円の減少)となる見通しです。

これらの理由に基づき、第 2 四半期連結累計期間の業績予想を修正いたします。

(3) 通期(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日) (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	8,500	90	80	60	1,904 円 76 銭
今回修正 (B)	9,000	△168	△133	△55	△1,746 円 03 銭
増減額 (B-A)	500	△258	△213	△115	—
増減率	5.9%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	9,273	222	215	96	3,079 円 08 銭

(4) 修正理由

通期見通しについて、売上高につきましては、第3四半期連結会計期間以降も特定顧客化戦略によりアウトソーシング案件の増加が見込まれること、顧客管理システム「S a t i s f a ®」、MD基幹システム「MD w a r e ®」及びテナント管理システムなどの大型案件を受注したことなどにより順調に推移する見通しです。

利益面につきましては、第3四半期連結会計期間以降、大型アウトソーシング案件が徐々に安定稼動すること、大型開発案件が増加することなどにより利益率の改善を見込んでおります。しかしながら、こうした利益率の改善は段階的に進むことが想定されること及びアセアン地域における事業化調査やクラウド開発への先行投資を今後も継続することなどにより、第2四半期連結累計期間の損失を穴埋めするまでにはいたらず、営業利益は1億68百万円の営業損失（2億58百万円の減少）、経常利益は1億33百万円の経常損失（2億13百万円の減少）、当期純利益は55百万円の当期純損失（1億15百万円の減少）となる見通しです。

これらの理由に基づき、通期の業績予想も修正いたします。

なお、平成24年3月期末の配当金につきましては、業績回復の兆しは徐々に顕在化してきているものの、回復の判断の見極めが難しい状況にある為、今後の状況を鑑みて改めて報告いたします。

2. 平成24年3月期 個別業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想（A）	3,780	△7	△10	△317円46銭
今回修正（B）	3,974	△121	△67	△2,152円48銭
増減額（B－A）	194	△114	△57	－
増減率	5.1%	－	－	－

(2) 修正理由

連結業績予想の修正理由と同様の理由であります。

(3) 通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	7,500	0	△11	△349円21銭
今回修正（B）	7,900	△180	△102	△3,238円09銭
増減額（B－A）	400	△180	△91	－
増減率	5.3%	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	8,515	218	35	1,127円83銭

(4) 修正の理由

連結業績予想の修正理由と同様の理由であります。

※ 上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上